

意見集約

第1次村上市総合計画

中間総括(素案)

総合計画

【山北地区】

基本目標 1 支え合い安心して暮らせる思いやりのあるまちづくり						地区	委員氏名
政 策	1	保健・医療の充実	施 策	5	国民健康保険の適正運営		
推進手法		医療費の適正化に努めるとともに、国民健康保険税の収納率の向上、疾病予防・保健事業の充実等を推進するなど、国民健康保険事業の健全な運営を行います。				山北	
担当課		保健医療課					
内部評価及び 主な 実施事業等		十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施					
現状と課題		レセプト点検体制の充実・強化による過重診療の抑制、重複頻回受診者等の訪問指導を実施した。またジェネリック医薬品の使用促進や、「健康ダイエット教室」等の体験型個別健康支援プログラムを定着させ、医療費の抑制に努めた。					
現状と課題		受診訪問等の保健事業の充実を図るとともに、ジェネリック医薬品の使用促進を強化し医療費抑制を推進するとともに、収納体制を強化する必要がある。					
政 策	2	地域福祉の形成	施 策	1	総合的な地域福祉の推進	地区	委員氏名
推進手法		各種福祉団体への支援を行い、団体が行う社会福祉事業を促進します。				山北	
担当課		福祉課					
内部評価及び 主な 実施事業等		十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施					
現状と課題		各種団体の事務局を担う社会福祉協議会の運営費を補助し、社会福祉事業の促進を図ってきた。					
現状と課題		運営費の補助を継続するとともに、事業や活動への支援を強化することにより、多様な団体の育成に努めていく必要がある。					

基本目標 1 支え合い安心して暮らせる思いやりのあるまちづくり						地区	委員氏名
政 策	2	地域福祉の形成	施 策	1	総合的な地域福祉の推進		
推進手法		地域住民や民間組織と連携し、「地域の支え合いによる福祉」の推進を図ります。			社協の「ささえあい村上」はH26.3～取り組んでいるわけですが、こういった事業は社協さんがやっているから安心（要望に応えられる）とは思えません。もっと多くの団体や個人が活動する機運が生まれるよう取り組まなければならないと思います。	山北	
担当課	福祉課・介護高齢課				「街中お年寄り愛所」はとても良い取り組みだと思いました。市報・ホームページ以外ではどの様に推進しているのでしょうか。もっと増えてほしいと思います。（登録していないだけで、すでに同じことを実践しているお店もあるのでは）		
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり	一定の成果あり	実施したが不十分	未実施	マンパワーの必要性は、強く感じます。中山間地が特に手薄だと思いますが、それ以外でのネットワークづくりは進んでいるのでしょうか。（中山間地だけではないのでは）		
現状と課題	いずれの事業も多くのマンパワーが必要であり、組織・団体の人員の確保と手薄である中山間地域でのネットワークづくりが必要となる。						
政 策	2	地域福祉の形成	施 策	3	ボランティア育成・地域福祉活動支援の充実	地区	委員氏名
推進手法		各種ボランティア団体の活動や交流の場として既存施設の活用を図ります。			「既存の施設を利用...」は、ふれあいセンター・クリエート村上等をされていると思いますが、村上地区では施設を利用した活発な活動が展開しているのでしょうか。しかし、もっと村上市全体を見た上で評価をして頂きたい。各地区にどのような交流や活動の場があるのか、またどのような問題を抱えているのか。どの地区もボランティアの不足や高齢化といった問題を抱えているのではないのでしょうか。	山北	
担当課	福祉課・関係各課						
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり	一定の成果あり	実施したが不十分	未実施	「村上おもちゃの病院」や「手話サークルひまわりの会」、「ふれ愛フェスティバル」が既存施設を活用し実施された。		
現状と課題	イベント的な有効活用は図られたが、市民及び他団体との交流の場としての有効活用については、検討を要する。						

基本目標 1 支え合い安心して暮らせる思いやりのあるまちづくり					地区	委員氏名			
政 策	2	地域福祉の形成	施 策	3			ボランティア育成・地域福祉活動支援の充実		
推進手法	各種研修会等の開催により、市民参加の機会提供に努めるとともに、ボランティア意識の醸成を図り、ボランティア人材の育成強化を行います。また、地域福祉を支える主体の一つであるNPO法人の育成を図ります。		<p>現在市内には11のNPOがあります。このうち10団体は1999～2009年に設立されました。2013年に1団体が設立されましたが、この数を見る限りNPOが育っているとは言い難いと思います。育成を計画に入れるのであれば、NPOの設立時はもちろん運営に関しても、市から援助(資金だけではありません)があってもよいのでは。例えば村上市では赤字のNPOへの税金等の免除はあるのでしょうか。(合併前、山北町にはなかったのですが、県税は赤字の場合設立から3年間均等割は免除です。)</p>			山北			
担当課	福祉課・保健医療課・介護高齢課								
内部評価及び主な実施事業等	十分成果あり	一定の成果あり					実施したが不十分	未実施	社会福祉協議会で手話及び要約筆記奉仕員の養成事業等の人材育成事業を実施したほか、研修会の開催、社協むらかみによる広報活動で、ボランティア意識の醸成を図っている。
現状と課題	社会福祉協議会が実施している「暮らし支え合い事業」は、今後も利用希望者の増加が予想されるが、登録ボランティアが不足しており、増員に向けた支援の検討が必要である。								
推進手法	社会福祉協議会への事業支援を行い、住民参加型福祉活動を推進します。								
担当課	福祉課		<p>「地域福祉推進事業(荒川・山北支所)」とは具体的にどのような事業を指すのでしょうか。</p> <p>住民参加型福祉活動については、3P1-2-1- で述べたように社協が立ち上げたわけですが、今は問題がなくても、要支援1、2の方を住民同志で支えなければならなくなった時には、とても追いつかないと思います。ボランティア意識の醸成と合せ活動を推進する事業も同時に行っていかなければならないのでは。また、今後どのようなスケジュールで介護保険改正に伴う準備を進めていくのでしょうか。</p>			山北			
内部評価及び主な実施事業等	十分成果あり	一定の成果あり					実施したが不十分	未実施	心配ごと相談事業、地域福祉推進事業(荒川、山北支所)に対し支援を実施した。
現状と課題	引き続き、財政支援により事業の推進を図る必要がある。								

基本目標1 支え合い安心して暮らせる思いやりのあるまちづくり					地区	委員氏名	
政策	5	子育て支援の充実	施策	5	要保護児童対策の充実		
政策		子どもたちが安全で遊べる場所の確保のため、児童遊園施設整備に対する支援を行います。			遊具設置に関しては、1/2補助のため申請がないと思われる。申請がないから予算を繰り越すのでは工夫がなさすぎる。新設よりも更新（危険で撤去した物を含）から検討すべきと思われる。指定管理者はあくまで保安全管理を行うのであって、遊具の更新は市の責任で行うべき。また、遊具などの撤去により施設の利用形態が変わってしまったもの（児童公園 ゲートボール場など）もあると思われるので調査が必要。調査も集落に丸投げしないように。併せて、住民の意見を尊重する必要があるが、特に若い子育て世代の意見を反映させてもらいたい。（単純な集落アンケートでは、若い人の意見が反映されにくい。）誠実な市職員の対応を市民は望んでいます。	山北	
推進手法		福祉課					
担当課		十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施			簡易水泳プールを有する区に対しては、維持費の軽減を図り児童の安全な遊び場を提供しているが、遊具設置については申請件数が少ない。		
現状と課題		遊具の新設については補助制度の研究が必要なほか、児童遊園施設の拠点化を望む声もあることから、方向性の検討が必要となる。					
政策	5	子育て支援の充実	施策	7	放課後児童健全育成の推進	地区	委員氏名
推進手法		子どもたちの健全育成を図るため、学童保育事業や放課後子ども教室事業を実施します。			山北地区の放課後子ども教室が計画されていること、課題があることが、郷育会議・コーディネイターに伝わっていません。主管がどこのか。難しい課題ではないと思われませんが。	山北	
担当課		福祉課・生涯学習課					
内部評価及び主な実施事業等		十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施			学童保育については瀬波学童保育所を建設したほか、保内学童保育所の建設に着手した。また、小学校6年生まで対象年齢を拡大した。放課後子ども教室事業については、村上及び荒川地区において学校・地域・家庭の連携事業として実施した。		
現状と課題		学童保育については、子ども・子育て支援新制度の施行に伴い、職員体制の整備が必要となる。また、現在、山北地区で計画されている放課後子ども教室事業については、地域ボランティアの確保や活動場所までの移動手段が課題となっている。					

基本目標2 自然と景観を守る環境に優しいまちづくり						地区	委員氏名
政策	1	自然環境の保全	施策	2	海岸・河川等水辺の保全・活用の推進		
推進手法		クリーン作戦の実施や市民の清掃活動を支援し、海岸・河川等の環境の保全に努めます。			山北地区では、小中学校連携事業としてまちづくり協議会も主催者に加わり、地域住民の協力を得て、海岸部の一斉クリーン作戦を行っています。	山北	
担当課		環境課					
内部評価及び主な実施事業等		十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施					
		自治会、団体、老人クラブ等が実施する海岸、海水浴場等の清掃活動に対し、回収袋の支給や回収処理の支援を実施した。					
現状と課題		活動が定着しており、今後も継続して支援する必要がある。					
基本目標3 活気に満ちた輝くにぎわいのまちづくり						地区	委員氏名
政策	1	農業の振興	施策	1	総合的な農業振興の推進		
推進手法		「水田農業ビジョン」により農業担い手の育成を図るとともに、豊かな地域資源を活かした農産物の高付加価値化や地産地消の取り組みを推進し、総合的な農業振興を図ります。			高品質・良食味の産地として、高い評価を受けている岩船産コシヒカリをはじめとした主食用米の、更なる安定生産と供給に取り組むことが最重要と考えます。その中で、平成30年以降の需給調整のあり方が課題となっていますが、非主食用米等水田活用ビジョンによる地域の実態を踏まえた、大豆・非主食用米等の取組みによる「生産者手取の最大化」と「需要に応じた生産」を図ることが必要と考えます。また、水稻中心経営体の収入確保に向けて、契約栽培による園芸を導入しながら産地化への取組みの拡大が必要と考えます。	山北	
担当課		農林水産課					
内部評価及び主な実施事業等		十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施					
		村上市農業再生協議会において、平成23年5月に「村上市水田農業ビジョン」を策定。経営所得安定対策をはじめとする各種対策・事業を通じて総合的な農業振興を図った。					
現状と課題		米価の下落・米の消費の落ち込み等、水稻による農業生産は厳しい状況にある。今後は水稻以外の作物の振興が重要になってくる。					

基本目標3 活気に満ちた輝くにぎわいのまちづくり						地区	委員氏名
政 策	1	農業の振興	施 策	1	総合的な農業振興の推進		
推進手法		農地法を基本とした農地の適正な管理に努めるとともに、意欲的な農業者への農地の集積を誘導することにより、農業担い手の育成を図ります。			今後も地域農業の中心となる担い手育成と、「人・農地プラン」における中心となる経営体「農地中間管理事業」における、受け手への更なる農地集積の推進が必要です。しかし、現状では地域との合意形成がない中で農地集積が進み、飛び地の虫食い状態になっています。また、現在中心となっている農地の受け手も高齢化が進み、地域農業の将来に不安があります。こうした課題解決に向けて村上市農業再生協議会を中心に、関係機関が情報を共有し協議を重ねていくことが必要と考えます。	山北	
担当課	農林水産課・農業委員会						
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり	一定の成果あり	実施したが不十分	未実施			
現状と課題	「人・農地プラン」において中心となる経営体及び「農地中間管理事業」における農地の受け手への農地集積を推進し、農地の適正な管理及び農業担い手の育成を図った。					山北	
現状と課題	農業従事者の高齢化が進む中、今後更なる農地の集積及び農業担い手の育成が必要になるため、制度周知を進める必要がある。						
現状と課題	本当に第一次産業については、特に山北地区の将来が心配です。農地の集積を推進することや農業の担い手の育成など、農業のプロ組織であるJAがもっと地域のために取り組むべきと考えます。行政とJAで連携し、早期に若者を中心とした担い手を呼び込むべきと考えますが、仕事をして成り立つような支援を行い、学生や県外で就職している地元の若者へ情報発信するなど、積極的な推進を期待します。(農業だけでなく、林業、漁業の担い手も同様)						
政 策	1	農業の振興	施 策	3	農村地域活性化の推進	地区	委員氏名
推進手法		農村地域の魅力を発信するため、クラインガルテンなどの交流施設の整備を推進します。併せて、関係団体や地域と連携し、農林漁業体験および生業(なりわい)体験、グリーンツーリズムを通じて、都市と農村の交流による活性化を推進します。			グリーンツーリズムに関しては、消極的すぎる。「・・・今後も呼びかけていく必要がある。」というような姿勢では、他地域にますます遅れをとる。協議会の活動をもっと支援すると共に、昨年発足した「村上なびっ人会」(村上市内のガイド・インストラクターの会)などに働きかけ、人のつながりをもっと構築すべきと思われる。	山北	
担当課	農林水産課・政策推進課						
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり	一定の成果あり	実施したが不十分	未実施			
現状と課題	朝日まほろば夢農園を開設し、都市住民との交流人口の拡大を図ったほか、新潟県グリーン・ツーリズム大会in村上の開催や、村上地域グリーン・ツーリズム協議会による各種事業を展開した。						
現状と課題	朝日まほろば夢農園については、募集手法の研究が必要である。また、各種生業体験などを活かした教育旅行の受入を今後も呼びかけていく必要がある。						

基本目標3 活気に満ちた輝くにぎわいのまちづくり						地区	委員氏名
政策	1	農業の振興	施策	3	農村地域活性化の推進		
推進手法	農村地域住民による、固有の豊かな地域資源を活用したコミュニティビジネスなどの起業を支援し、農村地域の活性化を図ります。		6次産業化への取組みは難しく、行政・農業団体とも取組みができないでいます。6次産業化を推進するためには、関係機関が各種交流会や支援事業等を通じ、連携して支援体制を構築する必要があると考えます。			山北	
担当課	農林水産課・関係各課						
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり	一定の成果あり	実施したが不十分	未実施	新たな補助制度は、市の単費事業ではなく、国の地方創生本部の事業などの大きな事業を活用すべき。企画力が勝負。	山北	
現状と課題	新たに6次産業化や農商工連携を加えた、産業等の活性化補助制度の見直しを進め、起業による農村地域の活性化を目指す必要がある。						
政策	2	林業の振興	施策	1	総合的な林業振興の推進	地区	委員氏名
推進手法	森林組合の体質強化や労働環境の改善、林業者の定住化の促進、森づくり等への住民参加による林業担い手の育成支援と組織の強化を図ります。		林業の主体となるべき山林所有者の、林業経営への継続意欲が低下し、山林の伐採後の再生林が減少傾向にある。また、山林所有者が山林を手放す状況も増加している。そのようにならないような施策の実施が望まれる。例えば、林業の状況が変化して負担に耐えられるようになるまで、山林の固定資産税を軽減することにより、山林を所有していることによる負担を幾らかでも減ずるようにすることも一つの方策である。			山北	
担当課	農林水産課						
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり	一定の成果あり	実施したが不十分	未実施	林業を生業（なりわい）としてみた場合に、直接的な活性化の方策としては、住民参加型の森林ボランティアは不適であるように思う。に含めて体験型の森林保護活動などにボランティア人材の活用をすべきではないか。	山北	
現状と課題	林業者の定住化面での成果が乏しかったことから、更に強化する必要があるとともに、「森林経営計画」策定区域の地区間の偏りの解消する必要がある。また、森林ボランティア活動については、実施主体の組織化が重要である。						

基本目標3 活気に満ちた輝くにぎわいのまちづくり						地区	委員氏名
政策	2	林業の振興	施策	2	森林整備の推進		
推進手法		地球温暖化防止森林吸収源対策を十分考慮し、特定間伐等促進計画に基づき、計画的な造林や間伐等の適正な森林整備を推進し、良質な地域材生産体制の整備と多面的森林機能の強化を図ります。また、林内作業路等の整備を推進し作業コストの低減を図ります。			森林の多面的機能の強化あるいは作業コストの低減においても、ある程度小さい面積規模での皆伐が見直しされてきている。大径の材が必ずしも優良材となるわけではない。いたずらに大径材を指向して山林全てをそのように導こうとするのは、逆に森林の多面的機能を低下させる方向へ導くこととなる。	山北	
担当課	農林水産課						
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり	一定の成果あり	実施したが不十分	未実施	林内作業路等の新設整備と同時に既存の林道の改良が必要になっている。市による林道の管理保全計画を更に充実した内容にすることにより、新規に設置される作業路が有効的に活かされるようにしなければならない。	山北	
現状と課題	利用間伐については林業事業者の意欲と森林作業道の整備により増加したが、保育間伐(切捨)については国補助事業の制度変更起因し減少する結果となった。平成26年度に制度の改正が再度行われたことから、保育間伐についても今後は増加が期待できる。						
政策	2	林業の振興	施策	3	木材加工流通体制整備推進	地区	委員氏名
推進手法		市産材の高付加価値化を図るため、森林・林業・木材産業づくり交付金事業等により加工流通施設の整備を促進するとともに、地域産素材の安定供給体制の促進を図ります。			「越後スギブランド材」が地域産木材の安定供給及び活性化に結びついてきているが、「県産材スギ」と同一視され、混同されている場合もある。量的にも利用の主流なるべき一般の「県産スギ」の取引が活発化するように図ることがより必要となっている。	山北	
担当課	農林水産課						
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり	一定の成果あり	実施したが不十分	未実施	施設整備に対する支援により、地域産原木の大口消費先及び地域産材による製材製品の安定生産が図られた。また、「越後スギブランド材」の普及推進により高付加価値化と品質向上に取り組んだ結果、取引が活発化し製品販路が拡充した。		
現状と課題	生産施設の整備は図られたが、主伐量の減少により地域産原木の安定確保が課題である。また、「越後スギブランド」の認知度は向上したが、付加価値化による高価格化や利益率向上までに至っておらず、対策が必要となる。						

基本目標3 活気に満ちた輝くにぎわいのまちづくり						地区	委員氏名
政策	2	林業の振興	施策	5	林地保全の推進		
推進手法		山地災害の未然防止対策と併せて、森林の多面的機能が十分に発揮できるよう、積極的に治山事業の導入を図るとともに松くい虫被害等の抑制に努めます。				地域材の利用促進を積極的に図る中で、山地災害防止のための治山工事においても、積極的に木材を利用するように計画してもよいのではないか。	山北
担当課	農林水産課						
内部評価及び主な実施事業等	十分成果あり	一定の成果あり	実施したが不十分	未実施			
	治山事業については、大規模施設(谷止工等)の整備は各地区で推進した。松くい虫被害対策については、防除作業の新たな手法を導入し懸命に取り組んでいるが、被害量については増加している。						
現状と課題	山地災害の防止については居住区域に隣接する山林の危険箇所の調査や対策を強化する必要がある。松くい虫被害対策については、個人所有林に対する対策を強化する必要がある、そのための施策や制度設計について検討する必要がある。						
政策	2	林業の振興	施策	6	林業生産基盤整備の推進	地区	委員氏名
推進手法		作業通行の安全を図るため、既設林道の改良舗装を計画的に推進するとともに、適正な林道管理を行います。				林道改良の優先順位を決定するときに、林道に接続する作業道の利用度あるいは想定施業範囲面積などを判定しながら、林道を改良することによって素材生産量が増加するように設定することが大切である。	山北
担当課	農林水産課						
内部評価及び主な実施事業等	十分成果あり	一定の成果あり	実施したが不十分	未実施			
	既設林道の改良事業を推進し、利用者の安全を確保と、原木搬出の効率を高めたことによる生産性の向上が図られた。また、林道施設の維持管理については、草刈や側溝清掃等の適期、適量実施により費用対効果の向上が図られた。						
現状と課題	林道改良事業については、施設の老朽化と異常気象(豪雨、豪雪)により大規模改良(修繕)が必要な路線が増加していることから、財源確保と同時に優先順位等の再検討が必要である。						

基本目標3 活気に満ちた輝くにぎわいのまちづくり					地区	委員氏名
政 策	5	観光の振興	施 策	1	総合的な観光振興の推進	
推進手法	観光振興によるまちづくりの推進に向けて、関係機関および関係団体、関係者との定期的な情報交換を進めるとともに、観光ガイド育成等の研修システムを整備します。		村上市観光振興計画に謳われた「人が一番の観光魅力～つくり・育て・広める～観光まちづくり～」が実践されていない。研修システムの前に、人のつながりを構築することが大切と思われる。発足した村上なびっ人会などとの協働により、人のつながり・人と物のつながりをつくるのが先決と思われる。		山北	
担当課	商工観光課					
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり	一定の成果あり	実施したが不十分	未実施	村上市観光振興計画管理委員会や村上市観光ガイド会研修視察等により情報交換を実施したが、観光ガイド育成の研修システムが整備されていない。	
現状と課題	定期的な情報交換が不足しており、体制を含めた検討が必要である。観光ガイド育成の研修システムについては引き続き関係団体と協議を進める必要がある。					
基本目標4 安全で快適な住みよいまちづくり					地区	委員氏名
政 策	4	安全なまちづくりの推進	施 策	3	総合的な防災対策の推進	
推進手法	防災意識の醸成を図り、地域における自主防災組織の育成支援を推進します。		山北地区では、小集落が多い中で少子高齢化・過疎化の進行が急速に進み、集落機能も弱体化・硬直化しています。こうした環境の中で、集落に自主防災機能を持たせるのは大変難しく、組織の立ち上げと維持運営には、他地域とは異なる手法や支援が必要と考えます。		山北	
担当課	総務課					
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり	一定の成果あり	実施したが不十分	未実施	自主防災セミナーや防災士養成講座の開催により防災意識の醸成を図り、組織の結成率は77.5%、人口カバー率で78.8%まで向上した(2014年9月1日現在)。	
現状と課題	他地区と比較して山北地区の結成率が低くなっている現状にある。引き続き防災意識の醸成に努めていくとともに、地域に根ざした活動ができるよう、人材育成を含めた支援も充実していく必要がある。					

基本目標4 安全で快適な住みよいまちづくり						地区	委員氏名
政策	4	安全なまちづくりの推進	施策	4	消防・水防対策の推進		
推進手法	非常備消防については、長期計画に基づき、消防団員の確保と、資機材の整備・充実を図ります。				震災時において、地元事情に精通している消防団員の必要性、重要性が改めて認識されていますが、地元消防団だけでは団員の確保は難しく限界があります。さらに、行政と地元消防団が連携し、地元企業等の協力を得ながら団員確保に取り組むことが必要と考えます。	山北	
担当課	消防本部						
内部評価及び主な実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施 資機材については計画的に更新を実施した。消防団員の確保については、消防団協力事業所表示制度の活用により、消防団活動へのなお一層の理解と協力を図り、若者の入団促進を図ってきた。						
現状と課題	消防団等充実強化法の制定に伴い、必要な消防資機材の整備・充実を図っていく。 また、消防団員の確保については、定数の見直しを含めた検討が必要となる。						
政策	6	良好なまちづくりの推進	施策	4	良好な都市緑化の推進	地区	委員氏名
推進手法	緑の基本計画および公園施設長寿命化計画の策定を行い、住民主導による身近な公園の管理、豊かな自然環境を保全・育成・活用した心地よい生活空間の創設を推進します。				当該施設がないから策定しないのはおかしい。住民アンケート（子ども子育て支援）でも、家族で楽しめる公園を希望する声は多くあり、今後検討すべきと思われる。環境保全しながら交流できる機会も、市主導で作ってもらいたい。山北地区では、出羽街道大沢峠の石畳修復プロジェクトや笹川流れトレッキングロード保全活動を交流事業として取り組んでいます。	山北	
担当課	都市整備課						
内部評価及び主な実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施 両計画とも他自治体の状況や該当施設がないことから策定しないこととした。						
現状と課題	公園については計画の有無にかかわらず、適正な維持管理に努めていくこととする。						

基本目標4 安全で快適な住みよいまちづくり					地区	委員氏名
政 策	7	公共交通の充実	施 策	1		
推進手法	市民、交通事業者、行政等が協働して「村上市地域公共交通総合連携計画」を策定し、計画に位置づけられた事業（実証運行）の実施と検証を行い、地域の実情に対応した持続可能な公共交通体系を構築し、利用促進を図ります。				山北	
担当課	自治振興課					
内部評価及び主な実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施 「村上市地域公共交通総合計画」を策定し、まちなか循環バス、せなみ巡回バス、通院支援デマンド型タクシー、高校生の通学割引を実施した。					
現状と課題	交通手段の確保や交通空白地の補完はほぼ完了しつつあるが、国の制度変更に照らし合わせながら、より利便性の高いダイヤの構築が必要。					
基本目標5 豊かな心と文化を育むふれあいのまちづくり					地区	委員氏名
政 策	3	文化・芸術の振興	施 策	1		
推進手法	文化芸術や伝統芸能および文化財保存団体等による自主的な活動を支援しながら発表の機会を設け地域文化の創造伝承を推進します。				山北	
担当課	生涯学習課					
内部評価及び主な実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施 市文化財保存事業補助金による支援や文化庁補助事業のふるさと文化再興事業による支援を実施したほか、文化芸術や伝統芸能団体の発表機会を設け創作意欲の向上や伝統文化の継承の支援を行った。					
現状と課題	文化芸術、伝統芸能団体とも若者層の構成員が少なく、後継者育成と継承が課題である。伝統芸能団体で所有する用具や設備の修理費用が負担となっており、継続して支援する必要がある。					

「村上市地域公共交通活性化協議会」において、山北地区について「連携計画に基づき、地域住民が主体となる取り組みを支援し、将来的に持続可能な公共交通体系の確立を目指す。同地区は、地域コミュニティの強化について長年取り組んできたことや地域活性化のために設立されたNPOが存在する。これらの団体の活動を支援することにより持続可能な交通確保策の立案、施策実施が期待される。」という議案が通っている。企画立案・施策を実施すべき協議会の結論としては、納得行かない。活動を支援するとあるが、具体的な動きはない。一昨年に「NPO等による福祉の有償運送を検討してほしい。」と申し入れをしたが、受け皿がはっきりしないからと断られた。そうしておきながら、「・・・企画立案・施策実施が期待される。」とはどういうことなのか。困難な地理的状况を解決することこそ行政の仕事と思う。フローに最初はあった「福祉の有償運送」が、今は消えてしまっている。

村上市全体において、文化・芸術・伝統芸能が衰退してきていると言われております。文化団体の構成員の高齢化が進み活動ができないことや、活動資金不足、子どもや若者不足等々、色々な問題があります。各地区の文化芸術団体や保存会の団体と交流を持つこと、情報を交換し合うことなど、公民館・文化協会の組織が積極的に動くことが大事。村上市内に一極集中型ではなく、各地区の特性に合わせた活動の支援を望みます。

基本目標6 簡素で効率の良い行政経営						地区	委員氏名
政策	1	組織・職員改革	施策	2	職員定員改革		
推進手法	職員定員適正化計画を策定し、その計画に基づき職員数の削減を進め、人件費の抑制に努めます。				<p>定員適正化計画により中長期的な採用抑制が続くことから、若年層が大幅に減少し、組織の活力低下が懸念されます。年次別の職員数や年齢構成を踏まえた採用計画が必要であることと、一般行政職においても民間企業経験者等の中途採用試験を取り入れることも検討が必要と考えます。</p> <p>また、定員適正化計画を進めることで大災害時における行政職員の対応にも不安が残ります。備えのためにOB職員等を活用できる仕組みを構築することが必要と考えます。</p>	山北	
担当課	総務課						
内部評価及び主な実施事業等	十分成果あり	一定の成果あり	実施したが不十分	未実施			
現状と課題	計画で見込んでいない早期退職者が出てきているため、計画数値が市の業務量に対して適正であるかどうか検討する必要がある。						
政策	1	組織・職員改革	施策	4	職員意識改革	地区	委員氏名
推進手法	組織の人材育成と効果的な人材活用の視点から、人事考課制度を創設し、導入することで職員一人ひとりの意識改革を促すとともに、職員の能力開発、指導育成、人事配置、昇任選考につなげていきます。				<p>導入目的を明確にして、考課者・被考課者が研修や会議を重ね、職員育成・昇格・昇給・人事異動等にどのように活用していくか、認識を共有することが重要と考えます。特に、人事考課制度の鍵は考課者が握っているため、考課者研修、被考課者との面談、考課結果のフィードバックは制度化が必要と考えます。また、人事考課制度と併せて政策や施策の実現に向けた目標管理制度があればよいと考えます。</p>	山北	
担当課	総務課						
内部評価及び主な実施事業等	十分成果あり	一定の成果あり	実施したが不十分	未実施			
現状と課題	人事考課は平成27年度導入に向け準備を進めている。平成28年度から人事評価が義務付けられるため、昇給、昇格等への評価の有効な反映方法を確立する必要がある。						

意見集約

第1次村上市総合計画

中間総括(素案)

アクションプラン

【山北地区】

産業元気プロジェクト

産業元気プロジェクト		地区	委員氏名
施策区分	(1) 産業の活性化		
施策の方向性	地域資源を活用した農商工連携や農林漁業の6次産業化を推進するため、きめ細かで段階的な支援体制の構築が必要です。	山北	
担当課	農林水産課・商工観光課		
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施 産業等の活性化支援事業による支援を実施したほか、農商工連携フェア実行委員会や地産地消推進協議会へ参画し、農商工連携フェアや逸品発掘交流会を実施したが、段階的な支援体制の構築には至っていない。		
現状と課題	6次産業化の促進については、まだ啓発活動から抜け出していない状況にあり、今後は、「(仮)産業元気プラン」の見直しの中で、補助制度の充実、支援体制の構築が必要となる。		
施策の方向性	地場産業を守り育てる視点を大切に、地産地消を前提とした事業化を推進する必要があります。	山北	
担当課	農林水産課		
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施 逸品発掘交流会の開催や、実際に販売等を行う農商工連携フェアへの協力をはじめ、関係機関と連携しながら、地産地消関連事業を行った。	山北	
現状と課題	地産地消を進めている各団体等から意見等をいただきながら各種事業を進めているが、今後は関係団体と連携しながら、共に事業を進めていく必要がある。		

産業元気プロジェクト

施策区分	(3) 高速交通体系の整備促進		地区	委員氏名
施策の方向性	高速道路の整備に合わせ、地場産品の流通と雇用の拡大につながる販売施設の設置を強力に要望していく必要があります。		山北	
担当課	都市整備課			
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施 日沿道の整備と併せていく必要があり、現段階で具体的な要望活動に至らなかった。			
現状と課題	商工振興の観点から地元との連携を図りながら、既存施設や隣接施設と競合しないよう関係機関に要望する必要がある。			

交流・体験プロジェクト

施策区分	(1) 魅力ある地域づくり		地区	委員氏名
施策の方向性	日本海きらきら羽越観光圏での取組を強化し、周遊型観光(2泊3日滞在型)の確立を目指すとともに、恵まれた地域資源を活かした市内観光ネットワークの充実が必要です。		山北	
担当課	商工観光課			
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施 全国紙、地方紙を含め雑誌媒体などへのプロモーション活動を行いモニターツアーに記者を誘致するなどして、周遊型観光の促進を図るとともに、県外の物産展などへ参加し、本市の魅力を伝えた。市内の観光ネットワークづくりについては具体的な取組に至らなかった。			
現状と課題	引き続き日本海きらきら羽越観光圏での取り組みを強化するとともに、統合した観光協会を中心に市内観光のネットワーク化に取り組む必要がある。			

交流・体験プロジェクト

施策区分		(2) 定住・交流人口の拡大		地区	委員氏名
施策の方向性	空き家の活用と遊休農地及び耕作放棄地の有効活用と連携した施策を展開し、定住人口や都市との交流人口の拡大を図る必要があります。			山北	
担当課	政策推進課・農林水産課				
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施	空き家バンク事業により定住人口の拡大を図ったほか、ふるさと回帰フェアへの参加等で積極的な情報発信を展開した。			
現状と課題	空き家バンク事業に対する市民の認識は徐々に広がってきており、今後は利用できる空き家の確保と定住者への補助制度の構築が必要となる。また、関東圏への更なる情報提供を進める必要がある。	空き家バンクは「売買」が前提だと思うのですが、空き家の活用と考えた時に「貸す」「借りる」という選択肢も必要では。空き家を持ち、離れて暮らしている方達は定期的に家に風を入れる、草むしりをする等ニーズがあるように思います。例えば「地域の茶の間」で活動の場として借り受け、定期的に使用することで風が入る、掃除する、茶の間の人達で草むしり等手入れするといった流れができるのではないのでしょうか。また事業として、空き家の維持・管理をすることで手放す時には情報が入り、スムーズに空き家バンクに登録して下さるのでは。		山北	
施策の方向性	保育料や住宅建築に対する支援等、移住定住者支援制度の研究を進め、定住人口の拡大を図っていく必要があります。			山北	
担当課	政策推進課・福祉課				
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施	人口減少問題対策委員会を立ち上げ、定住人口の拡大に向け、村上市人口減少問題「チャレンジプラン」を策定。取り組める事業から取り組んだ。			
現状と課題	プランを着実に実行していくとともに、第2次総合計画の策定作業の中で拡充の検討を行う必要がある。	少子化対策・子育て支援対策は村上市の将来への投資であり、最優先施策として予算の確保を必要があります。十分な予算確保の上で、他市町村の優良事例や若者・子育て世代の意見を取り入れながら、インパクトがある事業の実施が必要と考えます。			

交流・体験プロジェクト			地区	委員氏名
施策区分	(2) 定住・交流人口の拡大			
施策の方向性	市外で働く市民や、郷土に誇りを持ち地元で育ち地元就職する人々への支援策を検討する必要があります。	情報だけを提供しても人は来てくれない。まず一度来てもらう策を講じるべき。市の空き施設や空き家を滞在型シェアハウスとして提供してはどうか。	山北	
担当課	商工観光課			
内部評価及び主な実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施			
	地域の雇用情勢が厳しい状況が続いていたため、企業に対する支援策により雇用・求人の確保に取り組んできており、就職者に対する個別な支援には至っていない。			
現状と課題	最近になって製造業などでは人手不足の傾向が現れてきている。地元の人たち以外にも、Uターンや外部からの人材を呼び込むための支援策を検討する必要がある。			
健やか・子育て支援プロジェクト			地区	委員氏名
施策区分	(2) 地域医療体制の整備			
施策の方向性	厚生連村上総合病院の施設整備への支援を進めるとともに、地域医療のあり方を医療関係機関と共に検討する必要があります。	現状や将来の地域医療を考えれば、厚生連村上総合病院の早期新築移転は市民が渴望するところであり、村上市としての必要性も極めて高いと考えます。また、将来の地域人口や厚生連の経営状況からも早期新築移転は必要であり、そのためには移転先の土地を村上市が買収し対応すべきと考えます。できれば公設民営の方法が良いと考えます。	山北	
担当課	政策推進課・保健医療課・関係各課			
内部評価及び主な実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施			
	厚生連村上総合病院の移転新築候補地は村上駅西側に決定したが、建設年度の決定には至っていない。急患診療所については医師会等の協力をいただき休日に加えて、平日夜間の診療を開始した。			
現状と課題	厚生連村上総合病院の建設年度の決定に伴う、村上駅周辺の整備を計画的に進める必要がある。また急患診療所は手狭な状況にあるため、移転について具体的な検討に着手する必要がある。			

健やか・子育て支援プロジェクト			地区	委員氏名
施策区分	(3) 子育て環境の整備			
施策の方向性	子育て世代への経済的支援として医療費助成制度を継続するとともに、県助成制度の動向を見ながら、拡大について検討する必要があります。	子供の医療費助成適用年齢ですが、義務教育である中学校卒業までは良いこと。ただ県支援の充実により、早期に市町村の格差は是正すべきであり引き続き要望してほしい。	山北	
担当課	福祉課			
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施 子どもの医療費助成適用年齢を、平成25年9月1日から更に引き上げ、全ての世帯において中学校卒業までとし、子育て家庭の経済負担軽減を図った。			
現状と課題	県下の状況は、対象年齢の引き上げや一部負担金の補助などによる過度なサービス競争の体を成しているため、県支援の充実により市町村間の格差を解消すべきと各方面から要望しているが実現されない現状である。			
施策の方向性	保育ニーズに対応するため、現行の延長保育、土曜保育、一時預かり事業の充実と休日保育の導入について施設のあり方を含め検討する必要があります。	家庭や地域の子育て力が低下している中で、育児環境の充実は全市民の要望と考えます。延長保育、土曜保育、休日保育、一時預かり事業の充実はさらに必要と考えます。また、病児保育、病後児保育の取組みも必要と考えます。	山北	
担当課	福祉課			
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施 指定管理者の導入した「あらかわ保育園」では、延長保育の時間(朝7時30分～夕6時30分)の朝夕30分ずつの延長と、休日保育(日曜日、国民の祝日)を取り入れた。市内各区の拠点保育園で土曜日の一日保育を導入した。			
現状と課題	一時預かり事業については利用者が増加傾向にあるため、保育施設の未満児の受け入れ体制及び、緊急に預からなければならない家庭に対して対応も含め検討していく必要がある。			

健やか・子育て支援プロジェクト		地区	委員氏名
施策区分	(3) 子育て環境の整備		
施策の方向性	児童の健全育成を図るため、学童保育所を計画的に整備し、放課後児童対策の充実を図る必要があります。	山北	
担当課	福祉課		
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施 瀬波学童保育所を建設したほか、保内学童保育所の建設に着手した。	山北	
現状と課題	今後は老朽化した施設や管理面で問題がある施設から、保育園等施設整備計画に則り計画的に整備を進めていく必要がある。		
学童保育所の整備について 山北やまゆり学童保育所の老朽化ですが、地震等が起こると、また大雨や大水などでとても危険な場所だと思います。早期に整備を進めていただきたい。			
学童保育所に関してハード面の整備は進んできているのですが、ソフト面ではどうなのでしょう。平成25.4月から対象学年は小学校の全学年となり、これまで以上に日々難しい対応に迫られているのでは。加えて「放課後児童支援員」と呼ばれることになった学童保育所に勤務されている方々に、要求されることは多岐に渡ります。これまで家事労働の延長と見られていたように思いますが、これからは専門性のあるケア労働として、きちんとした待遇で雇用が確保されることを望みます。(ニーズを把握し、地域の実情をふまえた上で)市内は同じ事業が必要と判断されれば実施すること、勤務する方達の待遇についても、村上地区とその他4地区を同じにすることが第一歩では。			
人づくりプロジェクト		地区	委員氏名
施策区分	(1) 「教育のまち・村上」の推進		
施策の方向性	将来を担う人材を育成するため、他自治体に誇れる奨学金制度を継続するとともに、地元が必要とする人材の育成に対する特別な支援を含めた制度を研究する必要があります。	山北	
担当課	学校教育課		
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施 一般の奨学金については、大学・短大・専門学校に通学する学生に、最短修業年限の終期までとして月額7・5・3万円を貸与し、経済的支援を図った。		
現状と課題	貸付件数の増加に伴い、今後返還に関する事務が増加するため、事務体制の強化が必要となる。 地元が必要とする人材については、範囲を含めさらに研究する必要がある。		
奨学金も費用対効果を検討せざるを得ないが、地元への還元という視点からすれば、支援を受けた者が将来は地元で活躍することが約束されるような支援制度となることが望ましい。			

人づくりプロジェクト

施策区分	(2) 生涯学習の充実				地区	委員氏名
施策の方向性	生涯学習センターを中心に各地区施設とのネットワークを構築し、充実した学習情報の提供により学習環境の充実を図る必要があります。				山北	
担当課	生涯学習課					
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり	一定の成果あり	実施したが不十分	未実施	山北	
	庁舎ネットワークを利用し、生涯学習センターと各地区公民館事業予定の共有化を図ったほか、講座・催し物情報について市報やホームページ、チラシによる情報提供を実施した。					
現状と課題	駐車場等の確保も含め、教育情報センター、生涯学習推進センター、図書館の連携した活用手法の検討が課題である。					
施策の方向性	行政出前講座や市民講座を開催し、市民と行政が一体となり現代的課題についての学習を推進する必要があります。				山北	
担当課	生涯学習課					
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり	一定の成果あり	実施したが不十分	未実施	山北	
	むらかみ出前講座でのオープンセッションや市民公募により、市民参画型の講座が開催できた。また、大学連携講座を開催するなど地域の学校との連携した事業を行った。					
現状と課題	人権啓発、男女共同参画など、現代課題について学習機会の充実を図っていくとともに、引き続き市民参画型の事業を展開していく必要がある。					

人づくりプロジェクト		地区	委員氏名
施策区分	(3) 生涯スポーツの推進		
施策の方向性	市民の健康、体力づくりを推進するため、ライフステージに応じてスポーツ活動が実施できるよう、スポーツ環境の整備・充実が必要となります。	山北	
担当課	生涯学習課		
内部評価及び主な実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施 国体開催を契機に施設を整備したほか、荒川テニスコートの拡張及び人工芝張り替え工事等を実施した。また、各体育館のトイレを洋式化し利用環境の改善を図った。		
現状と課題	老朽化した施設が多いため、多様性、利用率、地域バランス等を考慮の上、計画的に施設整備を実施する必要がある。		
暮らし応援プロジェクト			
施策区分	(2) 公共交通体系の整備	地区	委員氏名
施策の方向性	実証運行を検証し、通院・買物支援・通学等の生活交通確保を主体に、デマンド型(予約型乗合)交通等、地域の実情にあった利用しやすい交通体系の確立を目指す必要があります。	山北	
担当課	自治振興課		
内部評価及び主な実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施 まちなか循環バス、せなみ巡回バス、荒川、神林、朝日、村上の一部地域にデマンドタクシーを展開してきた。	山北	
現状と課題	デマンド型タクシーの委託料の算定基準が地区ごとに異なっているため、調整が必要。また、事業者の高齢化、設備の老朽化が懸念される。		

早急に長期的なスポーツ施設に関する整備計画を立てるべきである。老朽化した各施設が、その都度バラバラの修繕対応での使用継続状況であることから、拠点施設等の整備について特化した検討を行い、その他の施設利用での総合的スポーツ振興を検討していくことが必要と思う。

平成26.5月に希望すれば「自家用有償旅客運送の事務・権限」は、市町村に移譲されることが閣議決定されました。こちらも含め、「地域の実情にあった利用しやすい交通体系の確立」を是非進めて頂きたい。

「村上市地域公共交通活性化協議会」において、山北地区について「連携計画に基づき、地域住民が主体となる取り組みを支援し、将来的に持続可能な公共交通体系の確率を目指す。同地区は、地域コミュニティの強化について長年取り組んできたことや地域活性化のために設立されたNPOが存在する。これらの団体の活動を支援することにより持続可能な交通確保策の立案、施策実施が期待される。」という議案が通っている。企画立案・施策を実施すべき協議会の結論としては、納得行かない。活動を支援するとあるが、具体的な動きはない。一昨年に「NPO等による福祉の有償運送を検討してほしい。」と申し入れをしたが、受け皿がはっきりしないからと断られた。そうしておきながら、「・・・企画立案・施策実施が期待される。」とはどういうことなのか。困難な地理的状況を解決することこそ行政の仕事と思う。フローに最初はあった「福祉の有償運送」が、今は消えてしまっている。

暮らし応援プロジェクト

施策区分		(2) 公共交通体系の整備		地区	委員氏名
施策の方向性	スクールバス等の地域交通資源を有効活用した運行体系を検討する必要があります。	スクールバスと一般客との混乗について 山北地区は、特に公共交通の利用が不便であり、高齢化がすごい勢いで進む中、スクールバスの利用や徳洲会病院の巡回バスの利用が期待される。他県では、すでにスクールバスの利用を行っている所もあり、関係者との協議を強く望みます。		山北	
担当課	自治振興課				
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施	スクールバスの通学時間帯に一般客の混乗を行い、コスト削減とバス運行の効率化を狙った計画だったが、関係者と協議の結果、実現に至らなかった。	市内で、スクールバス等を有効活用した例はあるのでしょうか?実施している事業があるのであれば、少し変えるだけで簡単に有効利用できるわけですから是非推進して頂きたい。民間でも、山北・徳洲会の送迎バスは帰りのみ(すべてのコースではないと思われませんが)15分間スーパーに停車するようになったとのこと。利用者の希望に寄り添い、工夫した良い例ではないでしょうか。	山北	
現状と課題	混乗時の危機管理の面や責任体制等を考慮すると実現は困難と考える。				

意見集約

第1次村上市総合計画

中間総括(素案)

計画未計上分

【山北地区】

施策の内容	現状・理由等	地区	委員氏名
移動販売車の取組み	公共交通手段の不便な地域であること、高齢者や独り暮らしの世帯が多いこと等から、早期に買物困難者の支援を考えてほしい。商工会と支所の連携でアンケート調査が行われたが、今後の計画を開示していただきたい。	山北	
旧村上高校山北分校の再利用について	生涯学習を中心とした総合的な企画を検討していると、平成26年11月19日の審議会の説明であったが、基本計画にしている事業が、なぜこれほど遅れているのか。平成27年度、平成28年度の工事着手が可能なのかどうか。今後、山北地区の生涯学習や文化・芸術の面で、活動の拠点になれるよう取り組んでいただきたい。	山北	
行政評価制度の構築	行政評価制度は、行財政改革の一つのツールであり、現在、取り組みを進めている行財政改革に、より多くの市民の声を反映させるため、市民目線による行政評価制度は必要と考えます。そして、行政評価の結果を事業の改善や見直し(政策・施策決定、予算編成、事務事業の見直し改善に反映させる)につなげることが必要と考えます。また、導入時は事務事業評価を主体とした、財政健全化を主目的とする評価とし、その後、政策・施策評価を主体とした、住民満足度の向上を主目的とする評価へ移行する方法が良いと考えます。	山北	